

令和6年度授業改善推進プラン

- (取組内容)
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

音楽科

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テスト及び学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。 <○成果 ▲課題>

観点	1 学期			2 学期			3 学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析（授業改善・評価）	具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
知識・技能	1年	○歌唱や器楽に必要な呼吸の基本を身に付けることができた。 ▲身に付けた呼吸の基本、発声や歌唱などに生かせていない。	常時活動で扱っている呼吸法を歌唱中にポイントとして伝える。分かりやすい言葉で指示をし、黒板にポイントを掲示し、いつでも確認できるようにする。	1年	○歌唱の発声方法を身に付けることができた。 ▲一部の生徒が身に付けた発声方法を歌唱に生かせていない。	校歌の斉唱を常時活動に取り入れ、発声方法の定着に努める。音楽記号等の基本的な知識はフォームやカフトなどのツールを使用して楽しく取り組めることができるようにする。	常時活動をととして、歌唱法、音楽の専門的知識の定着を図る。
	2年	○歌唱や器楽に必要な呼吸の基本を身に付けることができた。ふさわしい歌唱表現について考えることができた。 ▲一部の生徒が身に付けた呼吸の基本や発声を歌唱などに生かせていない。		2年	○楽譜の読み方の知識や歌唱の発声方法の技能を身に付けることができた。 ▲一部の生徒が基本的な音楽記号の意味等の定着ができていない。		常時活動をととして、歌唱法、音楽の専門的知識の定着を図る。
	3年	○歌唱や器楽に必要な呼吸の基本を身に付けることができた。ペアで話し合いながら歌唱表現の工夫ができた。 ▲身に付けた呼吸の基本、発声や歌唱などに生かせていない。		3年	○合唱表現に必要な基本的な技能を身に付けることができた。 ▲表現で考えたことを技能に生かし切れていない。		常時活動をととして、歌唱法、音楽の専門的知識の定着を図る。
思考・判断・表現	1年	○自分がどのように感じたかを言葉で表現することができた。 ▲知覚したことと感受したことの関わりについて考えられていない。	知覚したことと感受したこととの違いが分かるように、記入欄を別にし、鑑賞後、それらの関わりについて考える活動を行う。	1年	○合唱表現をするための手立てを言葉にして意見共有することができた。 ▲深く考える活動が苦手な生徒が多い。	スモールステップで課題解決に向かうような活動をし、思考・判断したことを表現できるような技能を身に付けることができるよう、知覚と感受を結びつけられるようにする。	表現方法や情景を考えるのが苦手な生徒が多いため、身近な曲から考える活動を行う。
	2年	○自分がどのように感じたかを言葉で表現することができた。 ▲知覚したことと感受したことの関わりについて考えることができるようになってきたが、表現に至っていない。		2年	○合唱表現をするための具体的な方法を言葉にして共有し、表現することができた。 ▲一部の生徒が合唱表現の知覚と感受の結びつきができていない。		他者の表現方法から刺激を受ける生徒が多いため、協働的な活動を増やしたい。
	3年	○自分がどのように感じたかを言葉で表現することができた。 ▲知覚したことと感受したことの関わりについて考えられているが、表現に結び付いていない。		3年	○合唱表現で知覚したことと感受したこととの結びつきを表現できた。 ▲一部の生徒が主体的に合唱表現を考えることができていない。		音楽表現を考えたり、表現することに前向きな生徒が多くいた。たくさんの表現方法を試して1つの音楽をつくる取り組みを行う。
主体的に学習に取り組む態度	1年	○楽譜作成ソフトFlatを使って音符や音名などの基礎知識の学習ができた。 ▲音符や記号の読み方や意味などの基礎的な知識の習得が不足していた。	4～7人のグループで歌唱活動を行う際には、記号や音符の名前、意味を繰り返し伝えたり、生徒に問い掛けたりする。	1年	○タブレット端末での学習では積極的に取り組み意見共有することができた。 ▲課題解決に向かう力や主体性に欠けている。	生徒が前向きに取り組められるツールを使用し、課題解決の意図や意味を感じられるような発問をする。	振り返りシートのフォーマットの改善を行う。
	2年	○歌唱活動を十分行うことができ、歌唱表現を深める活動ができた。 ▲音符や記号の読み方や意味などの基礎的な知識の習得が不足していた。		2年	○合唱表現や器楽等の音楽活動に主体的に取り組むことができていた。 ▲一部の生徒の音楽活動への意欲が低い。		振り返りシートのフォーマットの改善を行う。
	3年	○歌唱活動を十分行うことができ、ペアで表現活動を行うことで対話を通して歌唱表現を深める活動ができた。 ▲音符や記号の読み方や意味などの基礎的な知識の習得が不足している。表現・発表活動に取り組めない生徒が一部いた。		3年	○合唱活動を十分に行うことができ、意見共有をすることができた。 ▲意見共有したことなどを楽譜に書き込んだり、定着するための手立てができていない。		振り返りシートのフォーマットの改善を行う。
研修課題（キャリア教育に関連した教科としての取組）	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法		1 学期の成果と課題	1 学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2 学期までの成果と課題	1 年間の成果と今後の課題	
・生徒の主体性やコミュニケーション能力を育む授業	グループで歌唱活動を行い、表現や歌唱のポイントを生徒主体となって考え話し合う場面を設けた。		歌唱表現の際、生徒に前向きな声掛けをこまめに行い、積極的に取り組む生徒が多かった。授業内容を生徒の身近で生かせるように、生徒が関心のある物事に結び付ける。	ワークシートに知覚したことと感受したことの欄を分けて鑑賞することができた。生徒が授業の見通しをもって活動できるよう、黒板やスライドに授業の流れを表示した。	鑑賞の領域で知覚したことと感受したこととの結び付きの活動を行い、表現活動でも知覚と感受を考えられるようにしていく。	常時活動で校歌の歌唱を行い、歌詞を覚えるためクイズを行った。その結果、校歌の斉唱、歌唱法が身についた生徒が多かった。音楽記号等の知識が身に付いていないため、クイズで定着を進めたい。	